令和７年度　学校評価（自己評価・学校関係者評価）報告書

学校法人　小さき花園幼稚園

１．本園の教育目標

神さまをうやまい人々を愛する勇気のある子どもになりましょう

２．本年度の重点目標

◎一人ひとりの思い、考え方、感性を引き出す保育を展開し、表現する力を育てる

◎子どもたちが活発に身体を動かす楽しさを味わう保育をする

３．評価項目の達成状況および取り組み状況と結果

評価Ａ：達成している　Ｂ：一部達成している　Ｃ：一部改善を要する　Ｄ：改善を要する

◎一人ひとりの思い、考え方、感性を引き出す保育を展開し、表現する力を育てる

評価項目	評価	取組み状況・結果
幼児が主体的に遊びを進めるための環境の構成	B	幼児が必要に感じたときに、タイミングよく、遊具・用具・素材等を準備できた。 そのことで、子どもたちは、興味を持ったものに自ら選んで遊びに取り入れ、繰り返し使うようになった。

◎子どもたちが活発に身体を動かす楽しさを味わう保育をする

評価項目	評価	取組み状況・結果
意欲的に身体を動かして遊ぶ環境の構成	B	異年齢の子どもが一緒に身体を動かす場や機会を設けた。 やってみようとする気持ちや繰り返し挑戦しようとする気持ちを持てるようになった。

４．総合的な評価結果

今年度設定した重点目標は、昨年に続き２年目の設定だったので、昨年度の評価ＣからＢにあがる結果となった。しかし、保育士により評価結果に差があり、今年度もＣまたはＤの者もあった。個人でレベルアップにつとめ、重点目標を意識しながら保育を行うことが重要と考える。皆が、同じ保育観をもち、子どもを育てていくことが大切であり、本園の次年度の課題である。

５．施設関係者評価

評価は、昨年より上がっているが、引き続き質の高い教育を目指し、一人ひとりの保育者が高めあってほしい。また、本園の目指す「共主体保育」を今後も園目標に掲げ、共通理解のもと、研究を進めてほしい。そして、一人でも多くの園児獲得に努めてほしい。